

水の安全保障と持続可能な開発目標 (SDGs) に関するハイレベル・ラウンドテーブル 参加報告

日時: 平成28年5月24日(火) 09:00~14:30

場所: Inya Lake Hotel (ミャンマー・ヤンゴン)

主催: 世界水パートナーシップ (GWP)

GWP: 統合水資源管理 (IWRM) を発展させるため、1996年に世界銀行、国連開発計画、スウェーデン国際開発協力庁により設立。約3,000団体により構成。

参加者: GWP議長、ヤンゴン地域首相(アウン・サン・スー・チー国家最高顧問・NLD党首の代理)、運輸・通信副大臣、世銀ダイレクター、国連経済社会局高官、池内技監 ほか

目的: ミャンマー政府高官、国際機関、水分野の専門家等が参加し、ミャンマー及び東南アジア諸国の課題(洪水、渇水、水質汚濁等)と対応策を議論。

結果: 水に関するSDGsの達成に向けて、国際社会が連携して、ミャンマー及び東南アジア諸国を支援することを確認。

参加者からは、下記の重要性について発言:

- ・水に関する予防投資、
 - ・水関連災害対策、
 - ・水資源管理における民主的な制度・体制整備、
 - ・多様な利害関係者の参加と連携
- など



会議参加者 (左から4人目より、池内技監、GWP議長、(一人おいて)、ヤンゴン地域首相、運輸・通信副大臣)



開会セッションにおける池内技監の祝辞の様子